

新3年生 尾辻溪（おつじけい）

ぼくが、ミャンマーでいちばん楽しかったことは、ボートで水のかいだんのようなところをこえるときに、スピードをあげて、おりるとガタンとなってびっくりしたことです。そして、水のせきどめみたいなところで、ひっかかってしまいました。どうにかしようとボートのエンジンをかけてうごかす人がなんとかやりました。でも、とれませんでした。ほかのボートをこいでる人が、いっしょにひきだしてくれて、やっとはずれました。それを見て、ぼくはなかまかんけいがすごくいいと思いました。

ぼくが、いちばん心にのこったことは、ゴミひろいでゴミをひろったことです。そして子どもだけがさんかして、ぼくは子どものほうが大人より村をきれいにしたいという気持ちがつたわってきたので、子どもは大人よりみんなのことを思っていると思いました。ゴミが、いっぱいあったけど、その中にはぼくにとって、いいものがいっぱいありました。どうなのかというと、コンピューターのいちぶとかしけんかんのガラスビンとかです。

ぼくは、こうぶつをひろったり、さがしたりするのが大好きです。なので、ミャンマーでこんどは、山にとまり、山のほうで、ルビーやひすいを見つきたいです。